

CASE STUDY

電子マネー決済
導入事例

TOSHIBA

▶ 聖徳大学・聖徳大学短期大学部様

決済端末と加盟店契約の一括提供

電子マネー決済の活用により、利便性の向上とレジの混雑緩和を実現

キャッシュレス化により、学校の事務効率化も実現

業界(業種)

学校法人

課題

キャッシュレス化への対応
レジ待ち時間の解消
初期投資費用の削減
現金取り扱いの低減による事務コスト削減

導入サービス

東芝テック製品のリース導入
交通系電子マネー決済

導入製品

東芝テック製タッチターミナル
“WILLPOS-Touch QT20H” (13台)
交通系ICカード端末BT2 (13台)
交通系ICカードチャージ機BCT09 (2台)

効果

- 学生の利便性向上
- 学校の事務効率化を実現
- 支払費用の平準化



8号館1階の申請書等発行決済端末

千葉県松戸市に校舎を構える、聖徳大学様は、『和』の精神を建学の理念として掲げています。『和』とは、なごみであり、親しみであり、穏やかさであり、助け合うことであり、他者を思いやることです。この理念を社会に創造的に活かしながら、常に新しい教育にチャレンジし続けています。

今回、システム更新のタイミングで、学生の利便性向上、学校側の事務効率化を考え、キャッシュレス化を検討しました。既に大学の関連中高の食堂で導入済みであった東芝テック製タッチターミナル

WILLPOS-Touch QT20Hと交通系ICカード端末BT2を、新たにレジ端末として食堂・売店に導入し、申請書等発行決済端末として事務棟1階に導入しました。決済を交通系とした一番の理由は、広く普及している点です。学生からの要望により、チャージ機の導入も行いました。これらの設備を利用して、昼食時の混雑緩和と、学生の利便性向上を図るとともに、学校の現金管理にかかる事務コストを削減しました。また、リース活用により費用の平準化を実現しました。

みずほ東芝リース株式会社
<https://www.toshiba-lease.co.jp/>

We solved the problem in this way.

CASE STUDY

電子マネー決済
導入事例

MATSUDO CAMPUS

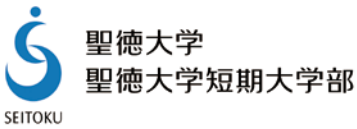


8号館・申請書等発行決済端末



7号館・食堂レジ端末

CORPORATE PROFILE



[法人名]

学校法人東京聖徳学園

[所在地]

千葉県松戸市岩瀬

[創立]

1933年4月

[建学の理念]

- ・建学の精神「和」
- ・自律と自立の心を育てる「人間教育」

[URL]

<https://www.seitoku-u.ac.jp/>



交通系 電子マネー		コード決済	
その他マネー		※「PiTaPa」はご利用いただけません。	